

# すこやか河内

河内地域学校園だより vol. 013 2014/7/18

～ 小中一貫教育を通して、子どもたちの心身の健やかな成長を目指します ～

## ☆ 地域学校園全体研修会

4月21日(月)中学校を会場に小中学校の全職員が集まり、全体研修会が開催されました。学校園長による、本年度の基本方針の説明を受けた後、各分会・教科部会に分かれ、協議を行いました。

### ○ 平成26年度運営方針

『無理なく、無駄なく』

- ・ 大きすぎる負担は長続きしない。小中一貫教育を進めるうえでの負担が大きくなるならないよう、既存の行事や活動を時期を合わせて一緒にやってみる、少し変えてみるといった形で進めていくようにする。

### ○ 重点項目

- ・ 小中学校、互いの学校文化を理解する。
- ・ 小中相互乗り入れ授業を通し、互いに学び、授業力の向上に努める。

## 学校園長あいさつ

本年度も、定期異動により新たに多くの先生方に「すこやか河内学校園」にお越しいただきました。これまでの活動にとらわれない、新しい考え方や見方で、新鮮な風を吹き込んでいただきたいと思います。

本地域学校園は、モデル校に指定された地域学校園の中でも、大変うまくいっているといわれています。小中学校の教職員の関係はとても良好で、華やかさはなくても着実な取組を行ってきました。新たに着任された先生方の新しい力と、継続して勤務いただいている先生方の経験を合わせ、楽しく実りある小中一貫教育を推進していきたいと考えています。

小中一貫教育に関する本年度の市の方針は次の2つです。

- ① 各分会などの連携組織を活用して、着実に実践し、より教育効果を高めるための改善を行ってほしい。
- ② 小中の教職員が相互理解を一層深め、相互乗り入れ授業を活用して、指導方法の工夫改善に努めてほしい。

各分会では、この2つを達成できるよう、ざっくばらんに話し合いをしていただき、活動を進めていただきたいと思います。



## ☆ 地域学校園事務室より「地域学校園事業交付金について」

地域学校園事務室の職務として一番大きいものが、地域学校園予算の編成・執行です。

5月30日付で宇都宮市教育委員会から、平成26年度の地域学校園事業交付金の内定通知が届きました。昨年度と同額の「授業力向上プロジェクト事業費」として12万円、「地域学校園推進事業費」として5万円、「フロンティア地域学校園推進事業費」として2万円の合計19万円でした。

特に、今年度の「授業力向上プロジェクト事業費」では、本地域学校園授業コンセプトの具体的取り組みのために、各学校に2台ずつの「ICレコーダー」の購入を中心に執行していきます。また、8月に実施される全体研修会のための経費と、発表ボード用のマーカーペンの購入を計画しているところです。

## ◎ 「生活のきまり」実態把握アンケートの結果から

本地域学校園では、小中学校共通の「生活のきまり」を策定し、9カ年を見通した生活指導の指針を共有しています。7月に実態把握アンケートを実施し、達成状況や今後の課題について調査しました。

**すこやか河内学校園**  
**生活のきまり**

- ・ 時間を守って席に着こう。
- ・ 元気にあいさつをしよう。
- ・ 目上の人には敬語「です」「ます」で話そう。
- ・ 胸章をつけよう。
- ・ 上履きはかかとをつぶさずにはこう。
- ・ 上履きは1週間に一度は持ち帰って洗おう。
- ・ 学校の物を大切にしよう。
- ・ 廊下の右側を静かに歩こう。

**すこやか河内学校園**  
**生活のきまり**

- ・ 授業開始時刻1分前には着席をしよう。
- ・ 元気にあいさつをしよう。
- ・ 目上の人には敬語「です」「ます」で話そう。
- ・ 名票をつけよう。
- ・ 上履きはかかとをつぶさずにはこう。
- ・ 上履きは1週間に一度は持ち帰って洗おう。
- ・ 机を大切にしよう。(落書きをしない)
- ・ 廊下の右側を静かに歩こう。

### 【小学生用】

すこやか河内学校園 「生活のきまり」 アンケート集計

#### 岡本小・岡本西小学校集計

1	はい	502	66.6%	いいえ	251	33.4%		
2	①◎239	31.7%	○392	52.0%	△108	14.3%	×13	1.7%
	②◎453	60.2%	○227	30.1%	△61	8.1%	×9	1.2%
	③◎340	45.2%	○303	40.2%	△83	11.0%	×26	3.5%
	④◎339	45.0%	○172	22.8%	△154	20.4%	×76	10.1%
	⑤◎631	83.8%	○89	11.8%	△27	3.6%	×7	0.9%
	⑥◎657	87.2%	○72	9.6%	△19	2.5%	×8	1.0%
	⑦◎595	79.0%	○137	18.2%	△13	1.7%	×5	0.7%
	⑧◎168	22.3%	○370	49.1%	△166	22.0%	×54	7.2%
3	①7	②1	③6	④4	⑤2	⑥3	⑦4	⑧8
4	①4	②5	③3	④2	⑤6	⑥7	⑦8	⑧1

#### アンケートの結果から

小・中学校ともに高い肯定割合だった項目は、「元気にあいさつをしている」「上履きは、かかとをつぶさずにはいている」「学校の物を大切にしている(小)、机を大切にしている(中)」です。中でも「あいさつ」については、一番できていると感じている児童生徒の割合も高く、「あいさつ運動」など地域学校園としての取組の成果が現れていると感じます。今後もあいさつのできる学校園として、地域にアピールできるようにしていきたいと思っています。

逆に小・中学校ともに低い肯定割合だった項目は、「廊下の右側を静かに歩いている」であり、その割合は小中ともに70%程度でした。これについては、児童生徒に対する呼びかけの必要性を感じました。

次に着目したいのは、小中での差が大きかった項目についてです。「上履きは、1週間に一度は持ち帰って洗っている」という項目では、小学校での肯定割合が一番高く、中学校では一番低いという結果が出ました。小学校での指導により習慣化していたものが、中学校で自己判断に任せられるようになったため、習慣として薄れてきているのではないのでしょうか。中学校1年生は6割、2年生が4割、3年生は3割と肯定割合が減少していることから、そのことが窺えます。

それとは逆の差が現れたのが、「胸章をつけている(小)、名票をつけている(中)」です。これは、中学校では二番目に肯定割合が高い項目ですが、小学校では一番低いという結果になっています。このことから教員の指導による習慣化が、児童生徒にきまりを守らせる上で大切な要因になっていると言えそうです。

児童生徒の意識を高め、「生活のきまり」をさらに浸透させていくためにも、それを指導していく教員の意識が大切であると感じたアンケート結果でした。

学校生活適応支援部会ではこの結果を受け、地域学校園として「生活のきまり」の徹底を図るための方策や、重点項目を決定していきたいと考えています。

## 小中相互乗り入れ授業

- ◆ 本地域学校園では、小中相互乗り入れ授業を教員相互の学びの場としてもとらえています。お互いの良さを取り入れ授業にいかすことで授業力を向上させることができ、その結果、児童生徒の学力を向上させることができると考えています。

6/3 公開乗り入れ授業： 小学校 → 中学校



国語 長谷川教諭（岡本西小）



社会 山中教諭（岡本小）



数学 浦山教諭（岡本西小）

中学校 → 小学校



理科 高橋教諭（岡本小）



国語 横塚教諭



算数 小野崎教諭

小学校 → 中学校



家庭 鈴木教諭（岡本西小）



音楽 野澤教諭（岡本小）



理科 高田教諭（岡本西小）

### 小学校教員による中学校への乗り入れ授業の趣旨

- ・ 小学校教員が、中学校での授業に参画することを通して、中学校における生徒の実態、学び方の指導や授業の進め方などについて小中学校が連携すべき内容などへの理解を深め、小学校の授業改善に生かします。
- ・ 小学校教員は小学校当時の児童との関わりを生かして、中学生への個別指導や、授業後の教育相談等により、中学校の学習に意欲的に取り組んだり、自覚をもって生活したりできるようにします。
- ・ 中学校教員が、小学校教員との授業後の情報・意見交換を通して、学び方や家庭学習の習慣化等に関する指導を小学校から円滑に接続できるようにするとともに、中学校での学習や生活に不適応傾向のある生徒の発見や、不登校の未然防止に役立ちます。

### 中学校教員による小学校への乗り入れ授業の趣旨

- ・ 中学校教員が、小学校での授業実践を通して、小学校の指導内容や児童の実態、さらに、校内環境・教室環境などへの理解を深めます。また、小学校教員と連携した指導を通して、小学校教員による児童へのかかわり方や授業の進め方についても理解を深め、授業改善に生かします。
- ・ 小学生が、中学校教員による授業を通して当該教科への関心を高められるようにします。また、中学校進学に向けて、学習に関するアドバイスを心得て自覚を深めたり、不安を軽減したりできるようにします。
- ・ 小学校教員が、中学校教員との情報・意見交換等を通して、当該教科の指導はもとより、学び方や家庭学習の習慣化等に関する指導について、中学校との一貫性の視点から改善を行うことに役立てられるようにします。

## 運動会ボランティア



玉入れの準備の様子



たくさん取っちゃえの準備の様子



よさこいソーランの演舞の様子

5月31日（土）に行われた岡本小学校運動会に18名の中学校1年生がボランティアとして参加してくれました。1年生の「玉入れ」では、中学生だけで全ての準備から玉数数えまで、しっかりと運営してくれました。5、6年生団体の「たくさん取っちゃえ」では、非常に多い準備品をてきぱきと運んでくれました。来年生の「かけっこ」では、小さな子どもたちの面倒を優しくみてくれました。そして、全校ダンスの「よさこいソーラン」では、在校生と一緒に素晴らしいダンスを披露してくれました。中学生としての成長を感じました。参加してくれた皆さん。本当にありがとうございました。

岡本西小学校創立40周年記念行事の一つとして、「運動会 紅白本気の真剣勝負」のスローガンのもと、児童一人一人が各自の目標を目指して頑張りました。



1・2年生ダンス 40周年の人文字



今年は、中学生が23名参加して採点・準備・放送の係を手伝ってくれました。



## 母校を訪問してのあいさつ運動

毎月1回、中学生と小学生と一緒に、あいさつ運動を行います。小学校では、代表委員の人たちが一緒にあいさつ運動をしました。「おはようございます！」

